

新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2024

(会場:新国立劇場オペラパレス)

ジャコモ・プッチーニ
「トスカ」

【全3幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>】

 2024年7月11日(木) 12日(金) 13日(土) 16日(火) 17日(水) 18日(木)
 全6回公演 全日 13:00 開演 新国立劇場オペラパレス

全席指定 高校生以下 2,200 円

※残席がある公演日に限り前売販売:高校生以下 2,200 円/一般(大人)6,600 円

高校生以下発売日:2024年6月9日(日)/一般発売日(大人):2024年6月23日(日)

**新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室で
 本物の感動を体験する。**

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、現代舞台芸術の一層の普及を目指す新国立劇場が、次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供する機会として1998年(平成10年)より開催している事業です。「初めてのオペラ鑑賞だからこそ、本物のオペラを体験していただきたい」という願いを込めて、演出、舞台美術、衣裳など本公演と全く同じプロダクションを上演。日本を代表するオペラ歌手が出演し、生のオーケストラ演奏で上演しています。高校生を学生扱いせず、一般のお客様と全く同じスタイルで名作オペラを全曲鑑賞していただくというコンセプトが大変好評をいただいております。

2024年新国立劇場公演にはプッチーニの人気作『トスカ』が登場します。歴史上の一日を切り取った、歌姫トスカと共和派の恋人カヴァラドッシ、二人を追う警視總監スカルピアのドラマティックで緊迫したドラマが、プッチーニならではの雄弁な音楽で展開します。『トスカ』の壮麗な舞台美術は新国立劇場屈指の人気を誇るもの。オペラならではの迫力満点のステージは、高校生の皆さんの心も大きく揺さぶることでしょう。


 高校生のためのオペラ鑑賞教室
 『トスカ』2018年公演より

 助成: 公益財団法人 **ロームミュージックファンデーション**

 協賛: **ローム株式会社**

損保ジャパン

新国立劇場「高校生のためのオペラ鑑賞教室」は、常松美登里子様からのご寄附を活用して行う公演事業です。

<写真、資料のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場制作部 オペラ広報 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/ e-mail:takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室

新国立劇場は、次の世代を担う青少年に優れた芸術を鑑賞する機会を提供するため、1998年度より20年以上にわたり「高校生のためのオペラ鑑賞教室」を開催しています。新国立劇場がシーズン公演として上演しているオペラ公演と全く同じプロダクションを、低価格で高校生に鑑賞していただいております。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
会場風景

本鑑賞教室は、国内を代表するオペラ歌手とオーケストラが出演。通常公演と同じ全幕上演でお届けします。マイクを使わない生の歌声、迫真の演技、大迫力の演奏、豪華な舞台セット等、最高水準のオペラが持つ様々な魅力に、多くの高校生から感動の声が寄せられています。

2024年はジャコモ・プッチーニ作曲『トスカ』を上演いたします。新国立劇場の『トスカ』はローマに現存する建築を移したような壮麗な舞台。中でも第1幕フィナーレは、目の前で舞台装置が壮麗な大聖堂へと展開し、神を讃える合唱を背景に究極の悪役スカルピアが欲望を吐露する、圧巻のクライマックス。音楽と視覚の相乗効果に包まれる、オペラの醍醐味そのもののシーンが観客の心を揺さぶります。オペラははじめてという高校生にも一生の記念となるオペラ鑑賞となることでしょう。

■2018年鑑賞教室『トスカ』アンケートより

2018年(プッチーニ作曲『トスカ』を上演)のアンケート結果によると、オペラ初鑑賞の高校生は全体の約8割(84.7%)を占め、約9割(91.2%)の方が鑑賞後に「良かった」「とても良かった/面白かった」との回答がありました。また、公演の良かったところとして1位「音楽」、2位「舞台装置・衣裳」、3位「物語の内容」と続いています。次の世代を担う青少年に向け優れた舞台芸術を提供することができたと判断いたします。参加する学校も年々増え、毎年首都圏の約50校以上が鑑賞教室を体験しています。

【高校生の感想(アンケートより一部抜粋)】

- ◆歌も音楽も演出も全てが素晴らしかった。また来たいと思った。
- ◆「トスカ」自体はフィギュアスケートで知っていたけれど、オペラで見るのは初めてで、とても面白かったです。
- ◆初めてオペラを見ましたが、音楽、物語、舞台装置、衣裳全ての迫りに驚きました。また見に来たいです。
- ◆今までオペラを見たことはなかったが、今日見てオペラってこんなにもすごいものなのかと非常に感動した。
- ◆ストレートやミュージカルとは違う良さがあり、また観たいと思いました。舞台装置、演出が特に良かったです。
- ◆とても感動しました！日本のオペラがとっても素晴らしいということを知ることができました。私も頑張ろうと思えました！
- ◆ホール内はとても美しく広々としていて、心が落ち着くと共に「これからオペラを聴くのだ」という、ほんのりとした緊張感も生まれました。舞台横に和訳した台詞が書かれていて、ストーリーも追いやすかったです。
- ◆物語が裏切りの連続でとても見ごたえがありました。合唱経験があるので、生で合唱を聴けたのも良かったです。
- ◆マイクがないのに声が響いて圧倒されました。開幕前の楽器の音合わせが舞台への集中を高める気がして素敵でした。ありがとうございました。
- ◆舞台装置に圧倒された。1幕の天窓から光を入れている照明がきれいだった。時間の経過とともに照明が変化するところが自然だった。幕に日や雲が映されているのがすごい。声に迫力があつたが頑張っている感じがしなかった。
- ◆とにかく歌唱力がすごく、鳥肌が立つほど圧倒された。
- ◆照明がすごいと思いました。オーケストラの生演奏で劇を見るのは新鮮でとても楽しかったです。歌がすごかったです！
- ◆異世界に連れて行ってくれる音楽でした。
- ◆生で見ることによって得られる躍動感や空気の振動を肌で感じる事ができて本当に良かった。こんなに大きな劇というものを見たことがなかったので、本当に感動した。
- ◆それぞれ聴かせどころが良く、分かりやすい劇でした。はじめてのオペラだった私には一生心に残り続けます。
- ◆音楽もすごく引き込まれて、男女の愛の素晴らしさや人間の心の深いところまでとても感動しました！
- ◆おもしろかったです。オーケストラで人物の感情があらわらせていてすごかった。
- ◆終始鳥肌が止まりませんでした。歌でこんなにも心を動かされたのは初めてです。とても感動しました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。今度は自分でチケットを買って鑑賞してみたいです。
- ◆オーケストラのためのセットや、オペラ特有の天井の高い舞台がとても新鮮で、すごくきれいだと思いました。
- ◆想像以上の迫力で感動しました。オーケストラの音楽も間近で聞くことができすぎて印象に残ったし、音楽とお芝居があんな

にマッチするなんてすごいと思いました。本当に感動しました。またオペラを見に来たいです。

- ◆オペラを見ることが初めてで理解できるか不安でしたが、振る舞いや口調、テノールやソプラノなど、歌手の方の声域や歌の雰囲気まで人物の気質や考え方が出て、気持ちまで読み取ることができおもしろかったです。
- ◆感情の変化を演奏や歌の強弱で表されていて、迫力に圧倒されました。知っている曲があったのですごく見入ってしまいました。おもしろかったです。
- ◆初めてのオペラで難しいイメージもありましたが、自分の考えや思いを含みながら自由に見ることができて、イメージと少し変わりました。音楽もすばらしかったです。
- ◆オーケストラがすごく良かったです。私は吹奏楽部でホルンを吹いていますが、吹奏楽と違ってオーケストラのホルンはたくさん見せ場があってとても楽しかったです。音出しのリップスラーがとてもきれいでした。
- ◆オペラを見ることが今回が初めてだったのですが、とても良く、初めて行くオペラが今回の公演で本当に良かったです。
- ◆第2章の部分が一番印象的でした。また、マイクなどを使っていないのに低い声でも聞こえたので、凄いなと思いました。音楽も場面場面に合っていてとても素敵だなと思いました。
- ◆舞台の豪華さに感動しました。火はにせものだと思っていたのに本物だったり、細かいところもよくできていて感動しました。人間はこんなに声が出る?!と思うくらいきれいで大きい歌声もすばらしかったです。
- ◆トスカの心情が次々と変わるのが歌から伝わってきてすごいなと思いました。音楽も歌もホールいっぱい響いていて、一体感があり感動しました。衣装も舞台もとてもきれいで、素敵でした。

■『トスカ』 あらすじ

1800年6月17日、オーストリア支配下のローマ。共和派の画家カヴァラドッシは、脱獄した友人アンジェロッティをかかまっていた罪で捕らえられる。トスカをわがものにしようとする狙撃警視総監スカルピアは、トスカの面前で恋人カヴァラドッシを拷問し、命を救う代償にトスカ自身を要求。トスカは取引に応じたふりをして、カヴァラドッシを形だけの処刑とする約束を取り付け、スカルピアをナイフで刺し殺し、出国許可証を手に入れる。明け方、見せかけのはずの銃殺刑が行われるが…。



高校生のためのオペラ鑑賞教室
『トスカ』2018年公演より

新国立劇場 オペラ『トスカ』ダイジェスト映像 https://youtu.be/gf0p_YkC5rM?si=hRuQH2a-g7nBivz0

■プロフィール

【指揮】園田隆一郎

東京藝術大学音楽学部指揮科、同大学大学院を修了。2002年より文化庁在外派遣研修員、野村国際文化財団、五島記念文化財団の奨学生としてローマに留学。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』の他、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団との演奏会、カターニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。2022年4月よりパシフィックフィルハーモニア東京指揮者。新国立劇場では2018年、20年、23年高校生のためのオペラ鑑賞教室・ロームシアター京都公演『魔笛』を指揮している。

SONODA Ryuichiro



【演出】アントネッロ・マダウ＝ディアツ

イタリア・ペルージャ生まれ。フィレンツェで舞台技術と演出を学び、ヴィスコンティ、ゼツフィレツリなど世界第一級の演出家のもとで研鑽を積む。1956年ジェノヴァ市立歌劇場の『ヘンゼルとグレーテル』でオペラ演出家デビュー。以来、ミラノ、ローマなどイタリア各地をはじめ、スペイン、フランス、アメリカなど世界各地の歌劇場で200本以上の演出を手がけ、オペラ専門の演出家として活躍。いずれもイタリア・オペラの伝統を踏まえた手堅い演出で評価を得ている。58年から91年までミラノ・スカラ座に所属し、演出部長、制作部長を務めた。新国立劇場では、98年に『ナブッコ』、2000年には『トスカ』の演出を手掛けた。『トスカ』は緻密な舞台づくりと豪華な舞台装置で、新国立劇場屈指の人気レパートリーとなっている。15年8月逝去。

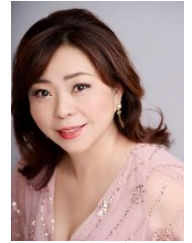
Antonello MADAU-DIAZ



【トスカ】 木下美穂子

KINOSHITA Mihoko 〈7月11日・13日・17日〉

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラスタジオ修了。これまでに『イル・トロヴァトーレ』レオノーラ、『椿姫』ヴィオレッタ、『仮面舞踏会』アメリア、『ラ・ボエーム』ミミ、『蝶々夫人』タイトルロール、『フィデリオ』レオノーレ、『アイーダ』タイトルロールなどに国内外で出演。殊に『蝶々夫人』タイトルロールでは、ロンドン・ロイヤルアルバートホール、ピサ・ヴェルディ劇場、ソフィア国立歌劇場、ミシガン・デトロイト歌劇場、バンクーバー・オペラなどに出演、確固たる国際的評価を築いている。コンサート・ソリストとしても全国各地のオーケストラと共演、好評を博している。新国立劇場では『ホフマン物語』アントニア、高校生のためのオペラ鑑賞教室『椿姫』ヴィオレッタ、同『ラ・ボエーム』ミミ、同『トスカ』タイトルロール、同『蝶々夫人』タイトルロールなどに出演。CD「イル・クオーレ」リリース。二期会会員。

**【トスカ】 竹多倫子**

TAKEDA Michiko 〈7月12日・16日・18日〉

愛知県立芸術大学卒業、東京藝術大学大学院修了。第47回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞。第82回日本音楽コンクール声楽部門(オペラ・アリア)第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞。第20回オルヴィエート国際声楽コンクール「蝶々夫人」部門にて優勝。平成26年度文化庁新進芸術家海外研修生。平成29年度第28回五島記念文化財団オペラ新人賞受賞。文化庁新進芸術家海外研修制度及び東急財団(旧五島記念文化財団)第28回五島記念文化賞オペラ新人賞により渡伊。ミラノ、ヴェローナで研鑽を積む。その間、マンチネリ歌劇場『蝶々夫人』タイトルロールにてイタリアでオペラデビューを果たす。2017年には日生劇場『ルサルカ』タイトルロールで好評を博す。2021年二期会オペラデビューとなった東京二期会『タンホイザー』ではエリーザベトを演じ高い評価を得た。令和3年度石川県文化奨励賞受賞。二期会会員。新国立劇場初登場。

**【カヴァラドッシ】 村上公太**

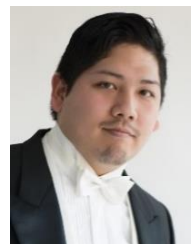
MURAKAMI Kota 〈7月11日・13日・17日〉

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてボローニャへ留学。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』マントヴァ公爵役を獲得。近年ではシンガポール・リリック・オペラに立て続けに客演し、現地にて好評を博す。新国立劇場では『こうもり』アルフレード、『カルメン』レメンダード、『ファルスタッフ』フェントン、『夏の夜の夢』ライサンダー、『イオランタ』アルメリック、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』クッツ・フォーゲルゲザング、『蝶々夫人』ピンカートン、鑑賞教室『カルメン』ドン・ホセ、鑑賞教室『蝶々夫人』ピンカートン、『トリスタンとイゾルデ』若い船乗りの声などに出演。2025年2月『ジャンニ・スキッキ』リヌッチョに出演予定。二期会会員。

**【カヴァラドッシ】 工藤和真**

KUDO Kazuma 〈7月12日・16日・18日〉

岩手県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。第84回日本音楽コンクール声楽部門第2位。第53回日伊声楽コンクール第1位及び歌曲賞(岡部多喜子・嶺貞子賞)を受賞。第17回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)及び聴衆賞を受賞。東急ジルバスターコンサート2019-2020ではベートーヴェン「交響曲第九番」テノールソリストとして出演。これまでに NISSAY OPERA『トスカ』カヴァラドッシ、『カブレレーティとモンテッキ』テバルド、藤沢市民オペラ『ナブッコ』イズマエーレ、東京芸術劇場コンサートオペラ『美しきエレヌ』パリスに出演。新国立劇場へは22年『ボリス・ゴドゥフ』グリゴリー・オトレピエフ(偽ドミトリー)でデビュー、23年オペラ鑑賞教室『ラ・ボエーム』ドルフォに出演。

**【スカルピア】 上江隼人**

KAMIE Hayato 〈7月11日・13日・17日〉

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了後、イタリアに留学。2006年ディマーロ国際声楽コンクール「Val di sole」第1位。第23回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ブッセートのパルマ・ヴェルディ・フェスティバルにて『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、『リゴレット』タイトルロールを演じ称賛を浴びる。最近の主な出演に NISSAY OPERA『セビリアの理髪師』フィガロ、びわ湖ホール・神奈川県民ホール『椿姫』ジェルモン、東京二期会『道化師』トニオ、『ドン・カルロ』ロドリゴ、『リゴレット』タイトルロール、『イル・トロヴァトーレ』ルーナ伯爵、藤原歌劇団『椿姫』ジェルモン、『ランスへの旅』アルヴァーロ、『リゴレット』タイトルロール、『二人のフォスカリ』フランチェスコ・フォスカリ、札幌文化芸術劇場『アイーダ』アモナズロなど。新国立劇場では『アンドレア・シェニエ』ルーシェ、『アイーダ』アモナズロ、『チエネレントラ』ダンディーニに出演、本年2月『ドン・バスクワレ』マラテスタで絶賛された。藤原歌劇団団員。

**【スカルピア】 青山 貴**

AOYAMA Takashi 〈7月12日・16日・18日〉

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ第44期マスタークラス修了。新国立劇場オペラ研修所第4期修了。第19回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。第4回マグダ・オリヴェーロ国際コンクールファイナリスト。これまでに二期会『仮面舞踏会』レナート、『ナブッコ』タイトルロール、日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』レポレツコ、『セビリアの理髪師』フィガロ、『魔笛』パパゲノ、びわ湖ホール『さまよえるオランダ人』オランダ人、『ラインの黄金』ヴォータン、『ワルキューレ』ヴォータン、『ジークフリート』さすらい人などに出演。新国立劇場では高校生のためのオペラ鑑賞教室『トスカ』スカルピア、同『ラ・ボエーム』マルチェッロ、同『蝶々夫人』シャープレス、『ニュルンベルクのマイスタージンガー』フリッツ・コートナー、『タンホイザー』ピーテロルフ、『サロメ』(札幌文化芸術劇場公演)ヨハンナなど主要な役に数多く出演している。二期会会員。



■公演概要

タイトル	新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室 2024 「トスカ」 全3幕<イタリア語上演/日本語及び英語字幕付>																								
スタッフ	指揮：園田隆一郎 演出：アントネッロ・マダウ＝ディアツ 美術：川口直次 衣裳：ピエール・ルチアーノ・カヴァッロツティ 照明：奥畑康夫																								
キャスト	<table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">(7月11・13・17日)</td> <td style="text-align:center;">(12・16・18日)</td> </tr> <tr> <td><トスカ></td> <td>木下美穂子</td> <td>竹多倫子</td> </tr> <tr> <td><カヴァラドッシ></td> <td>村上公太</td> <td>工藤和真</td> </tr> <tr> <td><スカルピア></td> <td>上江隼人</td> <td>青山 貴</td> </tr> <tr> <td><アンジェロツティ></td> <td>妻屋秀和</td> <td>河野鉄平</td> </tr> <tr> <td><スポレッタ></td> <td>糸賀修平</td> <td>岸浪愛学</td> </tr> <tr> <td><シャルローネ></td> <td>大塚博章</td> <td>高橋正尚</td> </tr> <tr> <td><堂守></td> <td>志村文彦</td> <td>島山 茂</td> </tr> </table>		(7月11・13・17日)	(12・16・18日)	<トスカ>	木下美穂子	竹多倫子	<カヴァラドッシ>	村上公太	工藤和真	<スカルピア>	上江隼人	青山 貴	<アンジェロツティ>	妻屋秀和	河野鉄平	<スポレッタ>	糸賀修平	岸浪愛学	<シャルローネ>	大塚博章	高橋正尚	<堂守>	志村文彦	島山 茂
	(7月11・13・17日)	(12・16・18日)																							
<トスカ>	木下美穂子	竹多倫子																							
<カヴァラドッシ>	村上公太	工藤和真																							
<スカルピア>	上江隼人	青山 貴																							
<アンジェロツティ>	妻屋秀和	河野鉄平																							
<スポレッタ>	糸賀修平	岸浪愛学																							
<シャルローネ>	大塚博章	高橋正尚																							
<堂守>	志村文彦	島山 茂																							
合唱	新国立劇場合唱団																								
児童合唱	多摩ファミリーシンガーズ																								
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団																								
主催	公益財団法人新国立劇場運営財団																								
助成	公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション																								
協賛	ローム株式会社 損害保険ジャパン株式会社																								
日程	2024年7月11日(木)13:00、12日(金)13:00、13日(土)13:00、 16日(火)13:00、17日(水)13:00、18日(木)13:00																								
会場	新国立劇場オペラパレス (東京都渋谷区本町1-1-1)																								
料金(税込)	高校生以下:2,200円 一般(大人):6,600円																								
チケット発売	<p>高校生以下発売日: 2024年6月9日(日)10:00～ 【Webボックスオフィス】一人1枚まで 【電話/窓口】一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで)</p> <p>一般発売日(大人): 2024年6月23日(日)10:00～ 高校生以下…【Webボックスオフィス】一人1枚まで 【電話/窓口】一人4枚まで ※高校生以下を1名以上含む場合のみ、大人も同時購入可能(計4枚まで)</p> <p>大人のみ…【Webボックスオフィス/電話/窓口】一人1枚まで</p>																								
チケットのお求め・ お問い合わせ	新国立劇場ボックスオフィス TEL: 03-5352-9999 Webボックスオフィス https://nntt.pia.jp/event.do?eventCd=2411848 公演詳細: https://www.nntt.jac.go.jp/opera/educational-tosca2024/																								